

柏崎市で新潟の弥生時代像を変える新たな発見！

西岩野遺跡で、独立棟持ち柱付き大型掘立柱建物!?

西岩野遺跡現地説明会 参加報告

小林隆幸

11月3日（金・祝）、柏崎市山本地内に所在する西岩野遺跡の現地説明会に参加しました。その前日2日の朝、新潟県の弥生時代を考えなおす大発見があったこと、その現地説明会が開催されることを新潟日報の記事で初めて知り、慌てて予定を調整し、当日、現地へ向かいました。広報が充分ではなかったにも関わらず、現地説明会には新潟市から出向いた参加者の姿も多くみられ、その関心の高さがうかがえました。後日の新聞報道では約370人の参加者があったとのこと。

現地では、県道を拡幅するために設けられたわずか880㎡の調査区に、弥生時代の大型掘立柱建物1棟をはじめ、周囲を巡っていた環濠の一部や、弥生時代から古墳時代にかけての方形周溝墓4基、土壙墓6基、古墳時代の円形周溝状の遺構などが密集している状況を目の当たりにすることができました。現地に立つと、周囲には、それに関連する遺構が広がっていることを簡単に想像することができました。また現地では、南側に平野を見下ろせる小高い台地上の適地に、建物や墓が築かれていたことが実感できます。平野の先には米山が象徴的に見えます。勾玉や管玉、ガラス玉などを伴う弥生時代の方形周溝墓の埋葬施設が米山の方角に主軸を向けていることから、調査員の「米山の方角に向けて埋葬されていたのでは」とする説明にも頷けます。ちなみに、この方形周溝墓に眠る呪術的な玉を身に着けた被葬者が、11月23日の講演会の演題にもある弥生時代の巫女と想像できる人物です。

出土品は現場事務所のプレハブで展示され、実際に出土した玉製品を間近に見ることができました。現地の説明会でも遺物展示のプレハブでも、遺跡の内容や価値に関する多くの質問が参加者から出ていました。やはり「遺跡を残せないのか？」という質問も聞かれました。説明員は「政治的な話はここではできない」としながらも、真摯に質問に応えていた姿が心に残りました。

真剣に遺跡に向き合い成果を出された調査員の方々、そして新たな郷土の財産を手に入れた柏崎市民、また、私も含む新潟県民にとって、この遺跡が永く引き継がれ活用されていくことを願うばかりです。



現地説明会の様子（遠方に米山を望む）

緊急講演会「卑弥呼の時代の巫女がいた!?!—柏崎市西岩野遺跡」報告

川上真紀子

文新協では11月23日（木・祝）、柏崎市産業文化会館大ホールで緊急の講演会を開催しました。これは、11月3日に現地説明会が開かれた柏崎市西岩野遺跡の重要性を広く市民に知らせようと緊急に企画されたものです。このままではこの遺跡は県道拡幅工事に伴って消滅する予定であり、県・市に対して保存のための処置と計画変更を含めた対策を求める必要があったからです。

当日は、新潟大学から多くの学生さんが参加。彼らの若い力で会場設営も難なくこなし、市民を待ちました。すると悪天候にもかかわらず、次々と市民が参加。130人ほどで会場を埋めました。



遺構のスライドを交えた中島さんの報告



悪天候の中、約130名が集う



遺跡の重要性を熱く語った橋本会長

この建物は構造から銅鐸絵画や弥生土器絵画に見られる倉庫兼祭殿のような性格を持つ建物と考えられ、新潟市白山神社に伊勢神宮から移築された御稲御倉（みしねのみくら）のようなものとされました。しかもこの建物が、居住域ではなく、墓域に存在することが重要であるとされました。

さらに同遺跡から北信系の文化を感じられることが指摘されました。墓域に存在する古墳時代前期の円形周溝墓が北信に見られること、埋葬施設の木棺の特徴が北信に見られること、掘立柱建物の掘り方から出土した土器片が北信系であることなど、多くの北信系の情報が見つっています。

以上のように本遺跡は弥生時代の集落構造を解明する重要な資料となること、そして弥生時代後期から古墳時代前期にかけての柏崎の権力構造や墓制の変化をたどれるまれにみる遺跡であることが明らかにされました。

アンケートからも遺跡の重要性から保存を求める市民の意思が明らかとなりました。しかし、まだまだ、多くの市民は遺跡の存在すら知りません。本遺跡が保存され、市民に活用されるにはまだ遠い道のりが待っています。保存のための第一歩は踏み出されました。これからは、遺跡を守り、未来に生かそうという多くの市民の声を集めなければなりません。

会は、柏崎市教育委員会の中島義人さんの報告からはじまりました。現場の責任者である中島さんは、遺跡のスライドを繰り出しながら、次々と新発見の遺構を説明されました。特に、現地説明会の時点では東側しか見つかっていなかった大型掘立柱建物の棟持ち柱が西側でも確認されたことが初めて報告されました。これで「？」のついていた大型掘立柱建物が独立棟持ち柱付き掘立柱建物である可能性が高まりました。現地説明会に参加できなかった方も多く、みなさん食い入るように報告に聴き入りました。また、中島さんの計らいで当日は現場のパネルを会場に展示することができ、臨場感あふれるものとなりました。

次に、新潟大学人文学部教授で本会の会長である橋本博文さんのお話です。橋本さんは、西岩野遺跡の特徴を15点指摘し、それを大きく二つにまとめました。一つ目は本遺跡が弥生時代後期の拠点集落であることです。環濠を持つ高地性の集落で、居住域とそれに隣接する墓域を持つこと、墓域には方形周溝墓と土壇墓が群在すること、方形周溝墓の一つからひすい製の勾玉2点を含めた玉類（勾玉・管玉・ガラス小玉）が出土したことなどから拠点としての条件を満たしているとししました。しかもその被葬者が身長140cmに満たない小柄な女性の可能性もあることを指摘しました。

もう一つが大型掘立柱建物の発見です。これは弥生時代としては新潟県初の発見であり、西日本の大型独立棟持ち柱付き掘立柱建物がストレートに伝播し、しかも現状で弥生時代最北端となると指摘しました。柱跡の直径が40cmに及び標準の2倍以上になること、柱を埋めるための掘り方が円形ではなく隅丸長方形であることなどから西日本の技術が入った特別な建物ということになります。

----- 【参加者の感想（講演会の感想、遺跡保存についての意見）】 -----

- 現地も見に行きましたので、大変楽しみとさせて頂いておりました。チラシをたまたま見つけられて良かったと思っています。県内初の発見物も多く、このエリア近くに住んでおりますので、誇りにも思っております。貴重な機会を有難うございました。
- 昨日、偶然チラシを見つけ今日の講演会に出席できました。現地を見ていないので、お話を聞いてよかったです。柏崎では、過去に発掘された遺跡が保存されておらず残念です。今回の遺跡は是非保存し、未来に引き継ぐ文化財となればよいと思います。先生方、ありがとうございました。
- 地元に住ながら、気が付かなかった。貴重な遺跡なので、今後も勉強してみたい。柏崎の成り立ちもこの事によって解って来る事も望んでいます。
- 史料が少なく未だに謎が多い古代のロマンに少し触れることができたように感じた。非常に興味深い講演だった。ただ、これらの遺跡を保存していくには、取り壊すメリットを上回るほどの説得力ある説明が必要であると思う。未解明の古代の謎について解き明かすことの魅力と必要性を多くの人に伝えることが重要であると感じた。
- 弥生時代の遺跡は新潟県内にはそれほど多くないと思っていましたが、近年、多くの遺跡が発見されて驚いています。独立棟持柱がある建物は祭祀・神聖性を伴った建物との事ですが、このような建物は日本固有のものなのか、それとも東アジアの稲作文化に共通した要素なのでしょうか。縄文時代より柱は神が宿るシンボルなのでしょうか。
- 数多くの遺跡がかつて破壊されてきた。目先の利益だけで判断するのではなく、その遺跡の価値を慎重に見極めていく必要があると感じた。そして、八幡山遺跡のように、破壊されなくて残していくべきである。
- 空中写真は素人目で見ると、ただの穴ぼこことまちがえてしまいかねないと思った。だからこそ、このような説明会で学術的価値を宣伝していかなければならないだろう。
- まだ調査中ということで分かっていないことも多い中、興味深い内容だったと思う。まだあまり考古学的なことは分からないので難しいところもあったが、全体的に分かりやすかったと思う。
- 西岩野遺跡の特徴だけでなく、全国の独立棟持柱建築、埋葬施設などの比較が多く、興味深かった。
- 西岩野遺跡がどのような意味を持つ遺跡なのかを改めて確認することができました。その上でこの遺跡の重要性を実感しました。また、人から話を聞いただけでは分からない、実際に現地を見なければ感じる事ができないことはたくさんあると思います。遺跡保存と開発、問題はたくさんあると思いますが、ぜひ西岩野遺跡が保存されてほしいと思いました。
- 西岩野遺跡が和泉など西日本の遺跡との共通性が見出せる点があり、弥生時代の新潟や西日本とのつながりが古代史を考えていく上でもおもしろいと思いました。
- 意義ある遺跡も、その場所で保存されなくてはとりかえしがつかないことがよくわかりました。大型建物が墓域にあることに大きな意味があるのでしょうか。本遺跡にはまだまだ知りたいことが山ほど。講演者の熱意がよく伝わりました。
- 西岩野遺跡のこれからの発掘状況が楽しみです、遺跡として保存されることを望みます。
- 道路拡幅の関係で発見された模様ですが、道路拡幅の問題を何とか折り合いをつけクリアし、保存方向にして頂けましたらと切望致します。
- 近辺の畑に同様の遺跡があるのでは。一時借用などして、発掘区域を広げる方向へ。一部の結果だけで想像をふくらませすぎるのはどうか。
- 柏崎の遺跡はほとんど埋め戻されて土器等しか残っていないので、なんとか残してほしい。
- 原発以外にやっと話題になるものが出てきたと思います。
- 柏崎ヘリテージとして絶対保存すべきです。荒浜地域から砂丘(砂山)を通して遺跡を歩いて佐藤病院の脇に出て山本経由で藤井まで行った事があります。60年位前の事ですが、現在感動しています。
- 歴史上、名もなき人々の存在こそが私たち一般市民の生活につながっていると思います。柏崎市はもちろん、新潟県民の財産として大切にしていきたいと思います。今後の新しい発見・報告が楽しみです。調査・保存に関わる皆様のご健康とご活躍を祈念しております。

- 広く市民に重要性を伝えていかなければならないと感じた。会報には、我が上越の遺跡は壊されてしまったとあったので、これからの活動が重要になると思う。どうにかして残し、かつ道路もどうにかできる方法を探るべきだと思う。
- 以前遺跡を見学したときに見た県道は、既に十分な規模のものだと思ったが、あえて今回拡張工事をするというのは地元の人々や行政にとっても必要なインフラ整備だと思う。その上で保存するためには、私のような市外の人間よりも地元柏崎市民が遺構の価値を十分理解して保存に動くことが必要であり、こうした講演会をより多く開催してもらいたいと思う。
- 遺跡を作ることは難しく破壊することが簡単である。そういう「かけがえのないもの」の持つ意味を、特に地域住民の方々に知ってほしいと思う。
- 講演をお聞きして、卑弥呼の時代の遺跡(3c←2c後半)と考えられるということでした。破壊してしまえばその痕跡はなくなります。後世に残す手段がなくなります。是非是非、保存されるようお願いしたいと思います。これを機会に是非、見学に来たいと思います。
- 今日の講演を拝聴して、西岩野遺跡が単に県内の弥生遺跡ということだけでなく、全国的な歴史の流れの中にあるということが分かって、本当に興味深かったです。これからの研究のためにも、是非保存を願っております。

文化財保存新潟県協議会・2017年度総会を開催しました。

2017年12月10日（日）、新潟市万代市民会館において、今年度の文化財保存新潟県協議会総会を開催いたしました。「2016年度活動報告」「2017年度事業計画」などの議事が承認され、2017年度・2018年度役員を選出しました。選出された役員は以下のとおりです。

会長：橋本博文、副会長：大熊清・川上真紀子、事務局長：木村英祐（いずれも留任）

また、このたびその重要性が明らかになった柏崎市西岩野遺跡については、11月8日に「柏崎市西岩野遺跡に関する緊急要望書」を提出したことや、11月23日の緊急講演会の様子などが報告され、年明けに新潟市と柏崎市でそれぞれ講演会を行うことなどが決定されました。

なお、同日、文化財保存全国協議会第48回新潟大会の第7回実行委員会が開催され、6月30日から7月2日まで行われた同大会についてのまとめを行いました。夜は恒例の懇親会で、これまでの活動をねぎらい、新たな課題に向けて英気を養いました。（事務局）

編集後記

19年ぶりの新潟での文全協大会を無事に終えたのもつかの間、柏崎市でまたまた素晴らしい遺跡が発見されました。文新協事務局では、急遽、遺跡の保存を求める緊急要望書を関係機関に提出、2週間という短い準備期間で地元柏崎市での講演会を開催しました。こうした急な呼びかけにもかかわらず、たくさんの市民が会場に駆けつけました。その半数が、文新協の行事に初めて参加する柏崎市民でした。遺跡に対する関心の高さもさることながら、現地説明会に行けなかった人の割合が大変高いことに驚かされました。一度限りの現地説明会では「遺跡を見たい！」という市民の要望に応えられないことは明かです。かけがえのない遺跡を見ることができない人がたくさんいる中、このまま破壊されてしまうことがあってはなりません。今後も、遺跡を守るための活動にご協力をお願いいたします。また、全国の遺跡を守るために、ぜひとも文全協（文化財保存全国協議会）へのご入会をお願いいたします。

この『会報』は文全協会員でなくても、文新協行事に参加された方には可能な限りお送りしています（ご参加なき場合は郵送を取りやめる場合があります）。名簿は本会からの連絡にのみ使用し、個人情報保護に留意し厳正に管理しています。会報送付がご迷惑な方は事務局までご一報下さい。

文化財保存新潟県協議会事務局（入会についてのお問い合わせも）

電話：090-2735-5536

E-mail：bun-sin-kyou@js8.so-net.ne.jp

ホームページ：http://www014.upp.so-net.ne.jp/bunsin-k/

文全協のホームページ
もぜひご覧ください。